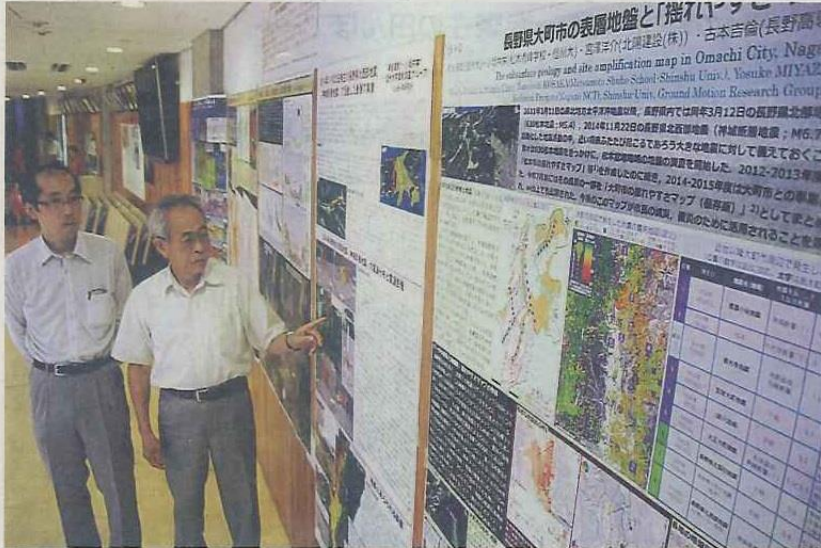


(第3種郵便物認可)



震動調査の成果を展示

信大グループ 秀峰校で

生じた際の揺れやすさ
 学震動調査グループ

を調べている「信州大
 橋2の松本秀峰中等教
 育学校（小坂共栄校
 長）に、これまでの研
 究成果をまとめたコー
 ナーを設けた。調査の
 手法や、新たに存在が
 確認された地中の断層
 の位置などを分かりや
 すく紹介している。

がこのほど、松本市埋
 蔵の断層調査結果を
 示すマップや、昨年
 度の手掛けた大町市
 のマップについて、
 どのような調査を行
 ったかを図やグラフ
 で示している。

た。25日以降も展示を
 続ける。

平成23年6月に松本
 市南部を震源に発生し
 た地震を受けて、グル
 ープがまとめた市内の
 揺れやすさを示すマッ
 プや、昨年度に手掛け
 た大町市のマップにつ
 いて、どのような調査
 を行ったかを図やグラ
 フで示している。

グループは現在、平
 成26年11月に発生した
 県神城断層地震で大き
 な被害を受けた北安曇
 郡白馬村の堀之内地区
 で地盤の調査を進めて
 いる。

グループの代表で信
 大特任教授も務める小
 坂校長が、地震につい
 て関心を持ってほしい
 と、一般公開される秀
 峰祭（24、25日）に合
 わせてコーナーを設け

調査の結果を
 まとめた展示
 コーナー

の必要性を感じて
 もらえれば」と話して
 いる。

（北原 哲）